

## 仁川訪問（2018年5月16日（水）～20日（日））

仁川訪問の参加者は終戦時に旭国民学校の1年生だった木本さんと吉原さん、龍岡国民学校1年生だったわたしの母も含めて4人。仁川に到着したときから霧が深く、そのあと二日間はいいにくの天気、19日（土）と帰国する20日（日）以外は雨でした。特に市内散策をした17日（木）はひざから下と傘をさしていない方の肩はびしょびしょになるほどの雨となり、残念ながら写真もあまり撮ることができませんでした。

17日は仁川にお住まいの戸田郁子さんといっしょに仁川散策をしました。午前中には「仁川を想う会」にも写真を投稿してくださっているハナさんともお会いし、華嚴寺周辺や旭国民学校周辺を歩きました。昼食は奇秉泰さん（終戦時、旭国民学校6年生）にごちそうになりました。午後は済物浦高校（当時：仁川中学校）を訪問し（写真添付）、校内にある学校歴史資料室を見せていただきました。そこには引揚げたあとにも交流を続けていた仁川中学校の卒業生や終戦時在校生だった方々の資料もありました。これらの資料をきれいに保存してくださっていることに感謝です。夕食は仁川文化財団仁川歴史文化センターの金樂起センター長にごちそうになりました。

18日の午前中は戸田郁子さんが経営されている官洞ギャラリーにおじゃましました。官洞ギャラリーは日本時代に建てられた日本長屋を利用したもので、柱や梁は当時のままです。午後は仁川文化財団の金樂起センター長といっしょに松島国際都市へ向かい、コンパクトスマートシティ（下にURLあり）という広報展示施設や松島国際都市を一望できるGタワーの展望台に行きました（写真添付）。夕食は前仁川文化財委員の金龍河先生にごちそうになりました。

19日は万石町や花水町方面に現在も残る日本時代の社宅を見てまわりました。案内してくれたのは万石町周辺で日本時代の建物を調査研究している李成珍先生。そして「仁川を想う会」を立ち上げてから知り合った「韓国古建築散歩」（下にURLあり）の管理人の方も仁川に来ていただき、いっしょに社宅見学をしました。花水町（現：花水洞）に残っている朝鮮機械製作所の旧社宅（写真添付）には現在も人が住んでいるのですが、住人の方のご厚意で家の中まで入らせていただきました。内部はしっかりとした造りになっていて、押し入れやトイレのドアは当時のままだということでした。わたしの母は幼いころ、ここにある朝鮮機械製作所の社宅に住んでいましたが、全く記憶にはないそうです。昼食は李成珍先生にごちそうになり、午後は東芝や朝鮮鉄道、東洋紡績などの旧社宅を見てまわりました。

今回の仁川訪問では多くの方々に歓迎され、滞在中はみなさんに本当によくしていただきました。心から感謝申し上げます。次回また機会を作り訪問させていただきたいと思っております。

仁川コンパクトスマートシティ

<https://www.seoulnavi.com/miru/2309/>

韓国古建築散歩

<http://liumeiuru.hacca.jp/>

次のページに写真を添付してありますのでご覧ください。



旧仁川中学講堂



旧仁川府尹公邸



松島国際都市



朝鮮機械製作所の旧社宅



社宅の中、押し入れ部分（時計下左）は当時のまま